

課題

【小・国語】 日常使われる敬語を理解して使うことが苦手

手立て

日常生活の中で子どもたちの言葉の使い方に注意深く耳を傾け、その都度、正しい言葉の使い方を知らせる

具体例

POINT① 敬語が正しく使えているか確認する

学習指導に当たっては、日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れるようにすることが大切である。日常生活の実際の場面を通して、尊敬語、謙譲語、丁寧語について理解できるように指導すると効果的である。

○インタビュー動画を撮影しておき、敬語に着目して振り返りを行う。グループで話し合い、正しい敬語の使い方について全体で共有する。

POINT② 他教科等と関連させ、来客の対応、手紙の書き方を考える

地域の人や保護者などに関わる状況において、相手と自分との関係を意識しながら敬語を使うことに慣れるように指導することが大切である。相手と自分の関係に着目し、身内には尊敬語を用いることは適切ではないというような言葉の使い方に関する感覚を養う。

○行事などで、受付、接待、司会、お礼の言葉などの役割ごとに場面を想定して、TPOに応じて話す内容を考える。

○招待状やお礼の手紙などを書く際、適切な文章表現かどうかを考える。

POINT③ 学習後も継続して適切な敬語を使用する

日常生活で正しい敬語が使えるようにするには、意識的に相手や場面に応じた言葉遣いを行うことが大切である。

○学習の成果を実感させるために単元の最後の振り返りを十分に行うことで、習得した敬語の力を児童が自ら活用しようとする意識をもたせる。

○敬語変換表（尊敬語、謙譲語、丁寧語）を教室に掲示し、視覚に訴え、日常的に意識できるようにする。

○正しい敬語を使用していた場合は、その都度褒める。

敬語の学習をした後は、日常的に敬語を意識した会話になるような、学級づくりをしていきましょう。

学年だより等でも家庭にも伝えていくとよいですね。

